



真木病院だより



病院理念

みんな仲良く
医療で奉仕誰にも親切
笑顔で応対

せんだんの木

ホームページアドレス：http://www.makikai.jp/



病気の

Story of illness はなし

骨軟部腫瘍

 統括診療部長
整形外科 篠崎 哲也


整形外科で取り扱う疾患というと骨折、捻挫、肉離れなどのイメージが一般的であると思いますが、骨肉腫に代表される骨軟部腫瘍（ここでは文面の都合上、悪性腫瘍に限って述べたいと思います）も整形外科で取り扱う大切な疾患です。

骨肉腫というと、若い子どもが突然手足が痛いといって病院にかかりそこで骨肉腫と診断され、治療として手足を切断されますが、やがて肺転移を生じて悲しい結末を迎えるようになるという、以前はドラマや映画での悲劇の病気として取り上げられることが多かった疾患です。しかし、これも昭和50年半ばころまでの現象であり、これ以後、治療手段や治療成績は大きく変貌しています。骨肉腫は、胃がんや肺がんなどと同様に悪性腫瘍、いわゆるがんの一種ですが、がんが上皮細胞に由来するのに対して、肉腫は間葉系細胞に由来するという点で異なります。

少し難しい話ですが、最近マスコミでよく取り上げているiPS細胞や幹細胞というような多くの組織に分化する能力を有する母細胞が異なるということです。それから、がんが一般的に高齢者に好発するのに対して、骨肉腫の好発年齢が10～20歳代という若い人に多いという点も異なります。また、骨肉腫の患者数はがんのそれに比べて100分の1程度にすぎません。これが、骨肉腫などの肉腫がrare cancer（稀ながん）と称される所以です。骨肉腫では、およそ人口100万人に対して年に1-2名の新規患者が発生するという統計結果があります。

群馬県の人口を250万人とすると年に3-5名程度の患者が発症するという状況です。

前置きがだいぶ長くなりましたが、昭和50年後半頃になり骨肉腫の治療にメトトレキサート（現在リウマチなどで一般的に用いられている薬です）という抗がん剤の大量投与と広範囲腫瘍切除という手術手技概念（がんの様に腫瘍を切除してリンパ節を廓清する方法ではなく、リンパ節に関係なく腫瘍を正常組織でカバーして切除する方法です）が導入されてから治療成績は飛躍的に向上しました。これにより、以前は四肢の切断が当然であったものが、大多数の症例で患肢温存（機能を維持した状態で手足を残すこと）が可能となりました。その後、シスプラチンやイフォスファミドという抗がん剤の大量投与などが導入され、近年では80%以上の骨肉腫患者は助かる状況となっており、今や骨肉腫は不治の病でなくなりました。また、この間に抗がん剤の代表的な副作用である嘔気や嘔吐を予防する薬も飛躍的に進歩しています。現在のような副作用予防薬がないころは、抗がん剤の大量投与を行うと、一晩中子供たちが吐き続けたり、そのためけいれん発作を起こすようなことは当たり前でした。このような副作用が少しでも軽減できるようになったことは患者さんやそのご家族のみならず治療に携わる我々医療スタッフにとってもありがたいことです。しかし、残念ながらまだ100%の患者さんを助けることができないことも事実です。また、骨軟部腫瘍領域には骨肉腫以外にも幼少に発生し、骨肉腫よりはるかに性質の悪いユーイング肉腫のようながんや、中高年齢に発生する肉腫も多数あります。がんと比べて発生頻度は低い疾患ですが、専門的な知識と技術を持って治療しないと取り返しのつかない結果になってしまうという点で、整形外科の中でも唯一生死と直結している領域です。

このような疾患も整形外科では取り扱っているということを知っていただければ幸いです。

診療科医師紹介

真木病院の各診療科で勤務される先生方を紹介します。



理事長・院長
外科
真木 武志



副医院長
内科
永尾 俊弘



統括診療部長
整形外科
篠崎 哲也



放射線センター長
放射線科
行廣 雅士



内視鏡センター長
内視鏡内科
和田 正浩



健診センター長
内科
小暮 起子



患者支援部長
内科
堀越 悟



内科
小濱 一弘



内科
笠原 浩一郎
(非常勤)



外科
小高 明雄
(非常勤)



肝臓・胆のう・膵臓内科
須山 正文
(非常勤)



呼吸器外科
矢島 俊樹
(非常勤)



乳腺外科
藤井 孝明
(非常勤)



泌尿器科
松井 博
(非常勤)



もの忘れ外来
山崎 恒夫
(非常勤)



訪問介護ステーションのお知らせ

在宅支援への期待

訪問看護ステーション真木 管理者 萩原洋子

野山が若葉の新緑に染まる季節、訪問看護ステーション真木が開設されてちょうど1年になりました。目まぐるしく過ぎたので長いという実感はなく、「え、もう1年?」とビックリするだけです。

ステーションになる前の訪問看護室からステーションに替わり、新しい出発から1年。利用者が増え、新たなスタッフも加わって、今では5名で活動しています。

みんなで忙しく走り回っていますが、訪問看護は基本的に自分1人の責任です。利用者の方と信頼関係を築いて自分で計画し、結果を自分で評価するという責任の重い仕事ですが、でも、一人で抱え込むわけではありません。「自分の責任でやった仕事の結果が出た時の達成感、充実感はある意味一人でやる楽しみだけれど、困った時に相談し合う訪問チームの仲間がいて、支えあうからできること」と、スタッフは言います。例えばサッカーチームかな。

その仲間として、在宅診療のスペシャリストの先生が4月から加わりました。自分の思いとは裏腹な病気の状態、家

庭のことなど、利用者のいろいろな訴えを聞き、ユーモアと笑いで応えて下さるので、訪問看護と診療の連携が向上し、在宅での生活支援がより一層向上してきました。

病気が進んでも住み慣れた自宅がいいのはどんな方も同じです。健康な頃を体が覚えているので、思うようにいかない現状を諦めてしまいがちになりますが、医療、保健福祉がうまく連携できて体制が整えば、慢性期に入った方ならどんな方でも在宅生活が可能になります。

4月から医療制度改定があって入院期間が短縮され、医療依存度の高い方も在宅生活を余儀なくされています。そのためにこそ在宅生活の支援が欠かせません。当院でも医療面の支援、訪問診療とステーションの連携を向上させ、在宅療養を進めています。

利用者の方を訪問診療、訪問看護で支えるのが訪問看護ステーションです。利用者の方のご期待に沿った支援を行えるよう、5人のスタッフは日々走り回り、頑張っています。



スポットライト

当院の職員の中には誰かにいわれるわけではなく、自らの想いで病院内に花を飾ったり、小物を置いたりしている者が何名かおられます。今回はその中の一人の職員に話を聞いてみました。

リハビリテーション科 看護補助 神谷 菊子

忙しすぎる日常の中でホッとする場所があったらと思ひ、又とかく無味乾燥とした廊下を何とか変えられないかと思ひ、小さな生花を飾り始めました。何流でもなく単に自己流ですが、患者さんや職員の方にすぐに目をとめていただくようになりました。花屋さんで売っているような特別な花では全くなく、その日の朝に庭に咲いていたものです。どこの家にでもありそうな日常の花ですが、入院中の患者さんにとっては、外の自然の様子を感じる手がかりにもなっているように思います。又ある時は、無表情に見えた患者さんが花を見てわずかに微笑んだり、花とは無縁に見えた男性の患者さんが、意外にも花の名前を知っていてくれたりすると思わずうれしくなるものです。花好き

の患者さんに声をかけていただき、草花の話で盛りあがったりすると、かえってこちらの方が元気をもらうこともよくあります。

冷たく寒い冬の季節を乗り越えてようやく訪れた春は、一年で最も花が咲き誇る美しい季節です。秋にまいた種は霜に根っこを持ち上げられたり、大雪に見舞われたりしながらもなんとか生き残って成長してくれていました。冬の厳しい寒さに耐えて春になると一斉に芽吹く宿根草(しゅっこんそう)が好きで、花友達と苗を交換するのも楽しいです。もとは小さな種から始まった草花ですが、いろいろな出会いにつなげてくれる花や自然に感謝しつつ、今年もたくさんの患者さんの笑顔に会えたらいいなと思っています。



真木病院診療案内

平成26年5月29日

診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土
午前9時～	内科	永尾	小浜	笠原 堀越	小暮	永尾 堀越	後藤(1・3・5) 反町(2・4)
	外科	群大	真木	小高 真木(予約制)	真木	大曾根 (群大)	群大(1・3・5) 志村(2・4) 高崎総合医療センター(3)
	整形	篠崎	角田 (群大)		篠崎	篠崎	篠崎(4) 群大(1・2・3・5)
	専門外来	松井 (泌尿器)	矢島(群大) (呼吸器外科)		須山 (肝臓 予約制)	和田 (内視鏡 予約制)	真木 (禁煙 予約制)
	胃内視鏡	和田 石井(群大) 前橋赤十字	喜多(帝京大) 群大	三浦(自治医大) 前橋赤十字 森田	和田(1・3・5) 中島(2・4) 群大	群大 前橋赤十字	自治医大
午後2時～	内科		永尾	小暮	山岸	反町(群大)	
	外科	石井 (群大)	新木 (群大)	横堀 (群大)	久保 (群大)	大曾根 (群大)	
	整形	越 (群大)					
	専門外来	山崎(1・3・5) (もの忘れ 予約制)	小浜 (糖尿)	高崎総合医療センター (循環器 予約制)	和田(2・4) (内視鏡 予約制) 藤井 (乳腺 予約制)		
	大腸内視鏡	和田	喜多(帝京大)	和田 三浦(自治医大)	西村 中島(2・4)	和田	三浦(自治医大) 佐藤(自治医大)

※ 午前の受付時間は11:30まで、午後の受付時間は17:00までです。

レディースデーのご案内

～「どうしようか」と迷っている女性のために～

毎月1回 女性にやさしいレディースドック日を設けています。

人間ドック受診者は女性限定。

この機会にご自身の健康に目を向けてみませんか。

今年度のスケジュールは以下の通りです。

平成26年 5月29日(木) 6月26日(木) 7月31日(木)
8月28日(木) 9月25日(木) 10月30日(木)
11月27日(木) 12月25日(木)

平成27年 1月29日(木) 2月26日(木)
3月3日(火) 3月26日(木)



平成25年度 真木病院実績

手術	件数	検査	件数
胃がん	4	上部消化管内視鏡 (胃カメラ)	8,576
大腸がん	13	下部消化管内視鏡 (大腸カメラ)	1,591
肝臓胆嚢脾臓	56	ダブルバルーン 内視鏡	37
人工関節置換術	11	マンモグラフィ	3,931
腹腔鏡下	11	人間ドック (検診含む)	16,056
EMR 内視鏡的粘膜切除術 (ポリープ切除を含む)	401	PET-CT検査	2,214
ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術	169		
その他	340		

発行：医療法人 真木会 真木病院 真木 武志

編集：真木病院広報委員会

医療法人 真木会 真木病院

Tel.027-361-8411

〒370-0075 群馬県高崎市筑縄町71-1



真木病院 外来棟

Tel.027-370-3011 (外来受付) Tel.027-363-8558 (人間ドック
健康診断)

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町187